

食の安全に関する情報を食の安全情報通信員のみなさんを通じてお届けする情報紙です。

今回のテーマ 知っていますか？農薬のこと

農薬は適正に使用すれば安全なものですが、ばく然とした不安をお持ちの方もいらっしゃると思います。そこで、今回は農薬の安全性についてご紹介します。

■農薬を使う理由

そもそも、どうして農薬を使うのでしょうか。

農作物は、何も手をかけないと病害虫や雑草が発生しやすく、収量や品質が維持・確保できません。

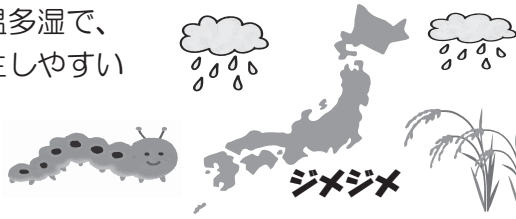
農薬は、病害虫や雑草を防除するのに有効で経済的な手段であり、農作業の負担を減らすためにも不可欠な資材です。

◆一番の要因は日本の風土

農作物の病気はカビによるものが多く、雨が多いとその被害は大きくなります。

逆に、天気の良い時には害虫が多く発生します。

日本の風土は高温多湿で、
病害虫や雑草が発生しやすい
環境と言えます。



市場に出荷するものは、「出荷規格」といって、大きさや色、形などが決められていて、この規格に合っていないものは、規格外となり、出荷することができないものもあります。



■農薬の種類

農薬には色々な種類があり、使い方も細かく決まっています。
農薬を使用する目的によって分類すると、次のように分けられます。

種類	用途	主な農薬
殺虫剤	害虫から農作物を守る。	スミチオン、ダイアジノン
殺菌剤	農作物に発生する病気を防ぐ。	ダコニール、トップジンM
除草剤	農作物の生育を阻害する雑草などを防ぐ。	バスタ、ゴーゴーサン
植物成長調整剤	農作物の生育や開花を調節する。	スマレクト、ジベレリン



農薬は、毒性が低い、分解されやすく蓄積しにくい、病気や害虫、雑草にだけよく効く、投下量が少なくてすむなどの特徴をもったものが開発され、流通しています。

■残留農薬基準

残留農薬基準とは、農薬が食品中に残ってもよい最大量で、私たちが毎日食べる作物の量がそれぞれ違うことから、作物ごとに決められています。

残留農薬基準は、私たちが一日に食べる全ての食品に含まれる残留農薬を推定し、その合計がADI（一日摂取許容量）を下回るように決められています。

★ ADI : Acceptable Daily Intake

ADIとは何ですか？



ADIとは、人が、毎日一生涯食べ続けても、健康に悪影響がでないと考えられる量のことです。

Q:群馬県が実施している残留農薬検査は、どこで行われているの？その結果は？

A:群馬県食品安全検査センターで行っています。平成27年度は、221検体を検査し、基準値超過はありませんでした。

■農薬の気になる疑問Q & A

Q. 野菜の残留農薬が気になるのですが、洗えば落ちますか？

A. 水洗いだけでも農薬はある程度落とすことができますが、基本的には野菜の中に農薬はほとんど残っていません。仮に残留していたとしても基準値以下になるよう管理されており、水洗いしなくても安全性の問題はありません。

ただし、衛生的な観点から食べるときに野菜や果物を水で洗うことは望ましいことです。



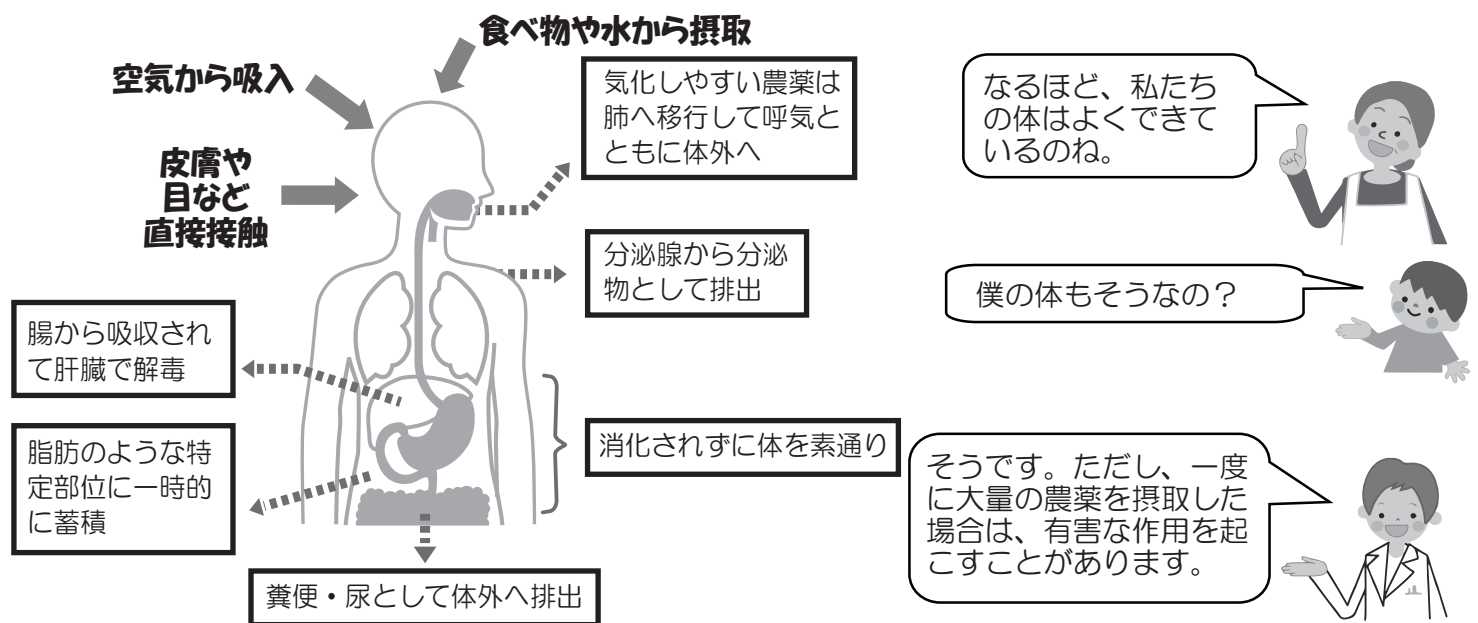
Q. りんごの皮が白いのは、農薬ですか？

A. 農薬ではありません。果粉（ブルーム）といって、りんご自身が作りだしているロウのようなものです。雨をはじいたり、水分の蒸発を防いだりする自己防衛のために作りだされ、安全性に問題はありません。ぶどうやプラムも同じです。



Q. 体の中に入った農薬はどうなるの？

A. 農薬によって吸収や代謝等の作用が異なります。長く体内にとどまるものもあれば、速やかに排出されるものもあります。農薬は体内で下の図のようにして排出されます。



平成28年度輸入農産物と食品表示に関する現地講座 参加者募集！

輸入農産物等に対する不安解消に役立てるとともに、適切な商品を選択するための正しい知識を得るために、スーパーマーケットの現場で、販売店が実施している輸入農産物・輸入食品の安全性確保の取組と食品表示に関する基本知識等を学ぶ講座を開催します。

- とりせん会場 日時：平成29年2月7日（火）13：30～16：00
場所：株式会社とりせん 群馬町店（高崎市中泉町605-13）
- コープぐんま会場 日時：平成29年2月20日（月）13：30～16：00
場所：生活協同組合コープぐんま 細井店（前橋市上細井町1968）

※参加を希望される方は、下記のお問い合わせ先まで御連絡ください。募集締切は平成29年1月24日（火）です。



御意見・御感想
お問い合わせは
こちらへ

〒371-8570 前橋市大手町1-1-1
群馬県健康福祉部 食品・生活衛生課 食品安全推進室
TEL：027-226-2424 FAX：027-221-3292
電子メール：shokuseika@pref.gunma.lg.jp